

インターミッション実施のお願い

行事企画委員会 年会小委員会

会員サービス向上策の一環として、試行的に講演プログラムにインターミッションを設け、質疑時間の拡充や総合討論に充てることとなりました。担当講演にインターミッションが含まれる座長の方におかれましては、下記の通りインターミッションの実施に御協力頂きます様御願い申し上げます。

(1) インターミッションの主旨・内容

- ・オーガナイザー制を取らない年会では、議論の活性化が例年の課題として取り上げられています。議論の場をより多く提供するための試みとして始まりました。
- ・ご担当のセッションを通常通り進行して頂きます。インターミッションでは、下記の実施例の通り、質疑時間の延長や複数講演にまたがる質問を行って頂くようお願いいたします。

(2) 実施例

i) セッション開始時

「このセッションには総合討論のためのインターミッションを設けております。講演者の方々は、インターミッションへの参加もお願いします。インターミッションでは各講演で質問しきれなかった点や、分野全体での議論を行いたいと思います。」

ii) インターミッション開始時

必要に応じて講演者の方々には会場前方の席に移動してもらってください。

「ここからはインターミッションとなります。ただいまの(発表分野名)の講演について、講演時間に質問しきれなかったこと、全体を通してのご意見、ご質問などを講演者・会場から募集します。」

iv) 会場からの質問を中心に進行をお願いします。

質問が出づらい場合、講演者の方に以下のような一般的な意見を求め、会場が参加しやすい話題作りを推奨します。

(質問例) 分野の将来像・目標、当該技術や分野全体のボトルネックとなっている課題、産業化や産学連携の現状と課題、日本と海外の現状、他の講演者への質問・意見

※上記は行事企画委員会としてのガイドラインであり、座長の判断で進め方を変更して頂いて構いません。

※※議論を深めることが目的ですので、学生講演が含まれる場合には共同発表者や指導教員にも積極的に議論に参加して頂けるよう配慮をお願いいたします。

※※※別途プログラム編成委員等と企画討論を準備されている場合はそれに従って下さい。